

# 来週の「売り物記事」はこれ



2017年6月9日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

## 走り続ける最年長棋士・加藤一二三九段

11日(日)



11日のストーリーは最年長棋士、加藤一二三九段(77)＝写真＝を取り上げます。昨年12月、史上最年少プロ棋士の藤井聡太四段(14)のデビュー戦で対戦以来、再び注目を集めていますが、最近はあるような成績が残せず、現役棋士として組まれている棋戦は竜王戦ただ一つ。20日の対局に敗れた瞬間、規定により引退が決まります。



若くして「天才」とうたわれ、14歳7カ月での四段昇段は、藤井四段に更新されるまで長く最年少記録でした。2500局以上の対局数、1179敗の敗戦数も史上最多。今年1月に最年長勝利記録も加えました。ユーモラスな風貌と体つき、型破りの行動から「ひふみん」の愛称もある人気者ですが、引退が現実味を帯びてきている今、何を思うのでしょうか。東京学芸部の丸山進記者が迫ります。

## 「共謀罪」法案も、幸福度ランキングも――

### 国連「辛口採点」から見える日本

夕刊特集ワイド 12日(月)

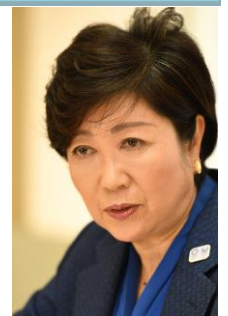


「メディアの独立性に懸念」「『共謀罪』法案については)恣意的に運用されかねない」――国連の特別報告者による厳しい指摘が相次ぎ、日本政府が防戦に追われています。さらに国連が発表した最新の「世界幸福度ランキング」でも、155カ国中51位。主要7カ国では最低です。こうした「辛口採点」は不当なのか、それとも……。 「安倍1強」の国内ではなかなか見えない「世界から見た日本」について考えます。

## '17 都議選企画 豊洲市場を通して

社会面 12日(月)

築地市場は豊洲市場に移転すべきか、現在地で再整備すべきか――。市場の安全性に加え、移転の決定過程が問題視される中、移転可否が争点の一つとなる東京都議選(6月23日告示、7月2日投開票)が目前に迫っています。「汚染された土地」というイメージが付き、子供のいじめ被害も出始めたという豊洲地区。地域住民は今、何を思い、都議選の先に何を求めているのでしょうか。移転問題を通して、首都・東京の未来を考えます。



## どうなる待機児童解消策

医療・福祉面 14日(水)



政府は、保育所の待機児童をゼロとする目標を3年先送りにし、2020年度末までとすると発表しました。増え続ける保育所利用希望者に、保育所整備が追いついていないかっこうです。目標達成のため、政府は新たに「子育て安心プラン」を打ち出し、今年度から22万人分の受け皿を整備するとしています。新プランを検証します。

## 亡き父が仕事の支えに

くらしナビA面 14日(水)

親への感謝の気持ちを、困難な状況でもがんばる子どもたちへの支援に向ける毎日新聞の「母の日・父の日募金キャンペーン」。中学生の時死別した亡父への思いをくみとって、進路を選んだ男性の気持ちを紹介します。大人になってから顔も声も父そっくりだと言われるようになり、一緒に酒でも飲みながら仕事の話をしたかったとの思いが頭をよぎります。



## 母子家庭向けシェアハウス

くらしナビA面 15日(木)



シングルマザー向けのシェアハウスが5年前から広がりつつあり、現在、全国に約20カ所あります。母親同士で子育てを助け合えたり、就職の支援に乗ってもらえたりするなど独自サービスが人気の一方、採算面で苦勞したり、人間関係でトラブルが起きたりするなどの課題も。ひとり親の孤立や貧困を防ぐためにどうするか。施設や利用者取材しました。



真夏の球宴へ、期待高まる

## 都市対抗野球組み合わせ抽選会

スポーツ面 17日(土)

社会人野球の真夏の球宴「第88回都市対抗野球大会」(毎日新聞社、日本野球連盟主催)の組み合わせ抽選会が16日、東京都内で行われます。出場は32チーム。開幕試合に登場することが決まっている前回覇者、豊田市・トヨタ自動車=写真=はどこを迎えつつのか。東京都・NTT東日本、大阪市・日本生命、大垣市・西濃運輸など強豪チームの初戦の対戦相手は。7月14日に東京ドームで開幕する大会に向け、一気にムードが高まります。

